2016年8月5日

岡山県感染症週報 2016年 第30週（7月25日～7月31日）

◎次週、2016年 第31週（8/1～8/7）の感染症週報は、8月19日（金）にホームページに掲載いたします。

◆2016年　第30週（7/25～7/31）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第28週　2類感染症　結核　1名（80代　男）
第29週　5類感染症　劇症型溶血性レンサ球菌感染症　1名（80代　男）
第30週　3類感染症　腸管出血性大腸菌感染症　1名（O157：20代　男）
　　5類感染症　後天性免疫不全症候群　1名（40代　男）
　　梅毒　2名（20代　女　1名、30代　男　1名）

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点84、小児科定点54、眼科定点12、STD定点17、基幹定点5

○ヘルパンギーナは、県全体で83名（定点あたり1.56 → 1.54人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。

---

1. ヘルパンギーナは、県全体で83名（定点あたり1.56 → 1.54人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、岡山市（2.57人）、備北地域（2.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域では発生レベル3が継続しています。全国の第29週の発生状況は、定点あたり3.52人であり、前週より減少しました。都道府県別では、新潟県（7.40人）、栃木県（6.10人）、三重県（6.09人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、症状が治まっても2～4週間の長期間にわたり便の中にウイルスが排出されることがあります。ひきつづき、うがいや手洗い・手指の消毒など、感染予防に努めましょう。
2. 腸管出血性大腸菌感染症は、第30週に1名の報告があり、2016年第30週（～7/31）までの累計報告数は、17名となっています。過去10年間の同時期と比較して最も少ない状態ですが、患者の発生がつづいています。例年、夏から秋にかけて最も発生が多くなる時期です。この季節、細菌が増殖しやすい高温多湿な環境になっていますので、手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなどの食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↑	★	RSウイルス感染症	↓	
咽頭結膜熱	↑	★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★
感染性胃腸炎	↘	★	水痘	↗	★
手足口病	→	★	伝染性紅斑	↘	★
突発性発疹	↗	★	百日咳	→	★
ヘルパンギーナ	→	★	流行性耳下腺炎	↗	★★★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↓	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→	★	クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	→	＊感染性胃腸炎（ロタウイルス）については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】前週からの推移：↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↓：大幅な減少　↘：減少
大幅：前週比100%以上の増減　　増加･減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
空白：発生なし　★：わずか　★★：少し　★★★：やや多い　★★★★：多い　★★★★★：非常に多い

夏休みに海外へ渡航される方に向けた感染症情報が、厚生労働省のホームページに掲載されています。

◆ 夏休みに海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に通常存在しない感染症が多くあります。海外で感染症にかからないようにするには、出発前にあらかじめ渡航先の感染症に関する情報を入手しておくことが大切です。

旅行中の注意点

- 生水、氷、カットフルーツやサラダなど、火が通っていないものを食べることは避けましょう。
- 肌の露出を少なくする、虫よけ剤を使用するなど、蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- 動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。（狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。）
- 外出後は、しっかり手洗いをしましょう。

帰国した後

- 帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港の検疫所に相談しましょう。
- 帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えましょう。

夏休みに海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所）

◆ オリンピック・パラリンピック観戦でブラジルへ渡航される方へ

＜ジカウイルス感染症にご注意＞

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年はブラジルなどの中南米で流行が拡大しています。また、米国マイアミ市、インドネシア、タイ、フィリピンなど中南米以外でも流行しています。

流行地域において、蚊に刺されてから数日後に、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛等の症状が見られた場合は、医療機関を受診してください。特に、妊娠中にジカウイルスに感染すると胎児に小頭症などの先天性障害をもたらす可能性があることから、妊婦及び妊娠の可能性のある方は、可能な限り流行地域への渡航を控えてください。やむを得ず渡航する場合は、特に蚊に刺されないように注意しましょう。

蚊に刺されないために

- 長袖・長ズボンを着用し、肌の露出は避けましょう。
- 虫除け剤（ディートやイカリジン含有）を使用しましょう。（虫除け剤の子供への使用は、添付されている使用上の注意をよく読んでください。）
- 設備（網戸やエアコンなど）が整っている、または蚊をしっかり駆除している宿泊施設を利用しましょう。

帰国した後

- 帰国時に心配なことや発熱などの症状がある方は、空港の検疫所に相談しましょう。
- 国内でのウイルス拡散防止のため、帰国後少なくとも２週間程度は、虫除け剤を使用するなどして蚊に刺されないようにしましょう。
- 帰国者（男女）は、症状がなくとも最低８週間、パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えましょう。

オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ（厚生労働省検疫所）
渡航時におけるジカウイルス感染症への注意について（厚生労働省検疫所）
夏休みにおける海外での感染症予防について（厚生労働省）

保健所別報告患者数　2016年 30週(定点把握)　　(2016/07/25～2016/07/31)　　2016年8月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	－	－	－	－	－	－	－	－	1	0.17	－	－	－	－
RSウイルス感染症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	19	0.35	10	0.71	3	0.27	2	0.20	－	－	1	0.25	－	－	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	5	0.36	15	1.36	2	0.20	11	1.57	－	－	－	－	2	0.33
感染性胃腸炎	213	3.94	31	2.21	58	5.27	60	6.00	13	1.86	19	4.75	9	4.50	23	3.83
水痘	13	0.24	8	0.57	1	0.09	－	－	1	0.14	－	－	1	0.50	2	0.33
手足口病	25	0.46	8	0.57	11	1.00	1	0.10	1	0.14	3	0.75	－	－	1	0.17
伝染性紅斑	4	0.07	－	－	2	0.18	1	0.10	－	－	－	－	1	0.50	－	－
突発性発疹	27	0.50	12	0.86	1	0.09	9	0.90	－	－	2	0.50	－	－	3	0.50
百日咳	1	0.02	－	－	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	83	1.54	36	2.57	11	1.00	12	1.20	4	0.57	10	2.50	2	1.00	8	1.33
流行性耳下腺炎	70	1.30	21	1.50	33	3.00	－	－	2	0.29	8	2.00	3	1.50	3	0.50
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	－	－	－	－	－	－					－	－
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	－	－	1	1.00					－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－

(－ :　0　or　0.00)　　(空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数　2016年 30週（発生レベル設定疾患）　（ 2016/07/25～2016/07/31 ）　2016年8月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	－	－	－	－	－	－	－	－	1	0.17	－	－	－	－
咽頭結膜熱	19	0.35	10	0.71	3	0.27	2	0.20	－	－	1	0.25	－	－	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	5	0.36	15	1.36	2	0.20	11	1.57	－	－	－	－	2	0.33
感染性胃腸炎	213	3.94	31	2.21	58	5.27	60	6.00	13	1.86	19	4.75	9	4.50	23	3.83
水痘	13	0.24	8	0.57	1	0.09	－	－	1	0.14	－	－	1	0.50	2	0.33
手足口病	25	0.46	8	0.57	11	1.00	1	0.10	1	0.14	3	0.75	－	－	1	0.17
伝染性紅斑	4	0.07	－	－	2	0.18	1	0.10	－	－	－	－	1	0.50	－	－
百日咳	1	0.02	－	－	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	83	1.54	36	2.57	11	1.00	12	1.20	4	0.57	10	**2.50**	2	1.00	8	1.33
流行性耳下腺炎	70	1.30	21	1.50	33	3.00	－	－	2	0.29	8	2.00	3	1.50	3	0.50
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	－	－	－	－	－	－					－	－

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル３
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２　　を示しています。

（－：　0　or　0.00 ）　（ 空白 ： 定点なし ）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2016年　第30週　 2016/07/25～2016/07/31 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	19	-	-	5	1	3	3	1	1	1	-	-	2	-	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	1	1	8	3	5	2	3	4	2	-	5	1	-
感染性胃腸炎	213	7	18	42	17	20	12	14	11	9	8	8	14	1	32
水痘	13	-	1	-	2	2	-	2	-	5	1	-	-	-	-
手足口病	25	-	1	9	3	3	5	2	1	-	1	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
突発性発疹	27	1	10	11	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	83	-	15	21	13	9	9	5	3	3	5	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	70	-	-	5	9	10	11	10	4	3	5	2	8	-	3

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

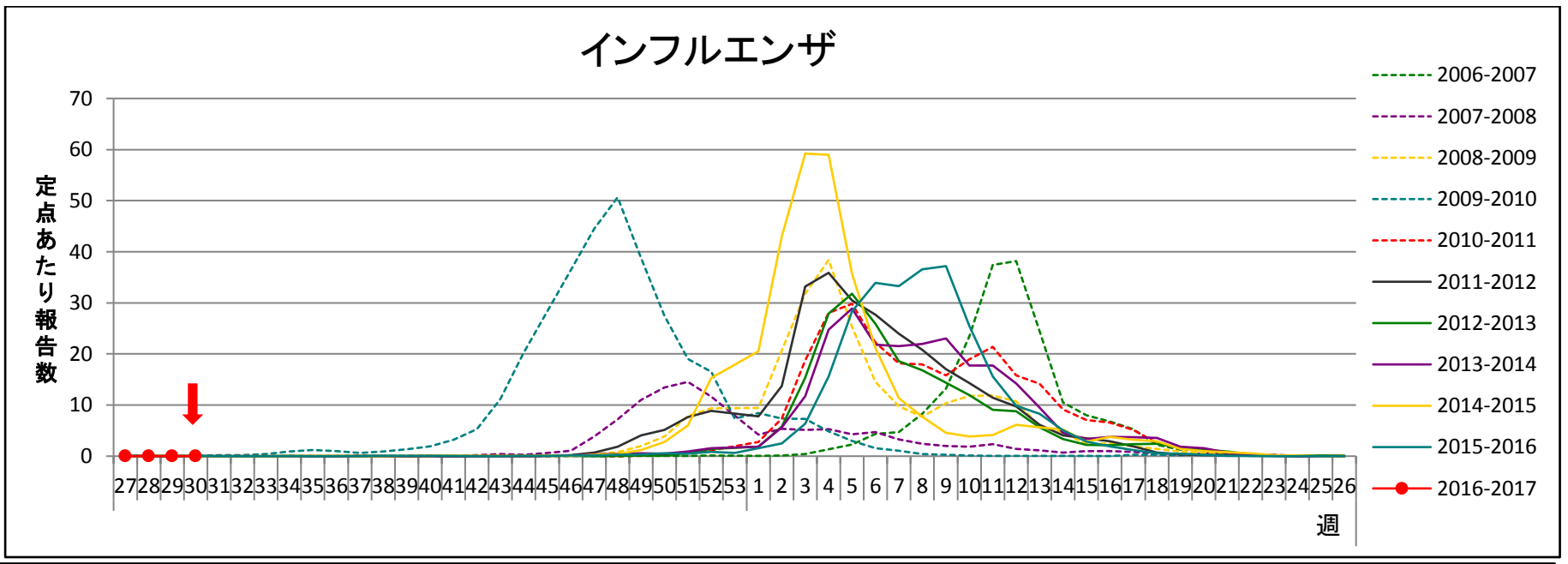
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

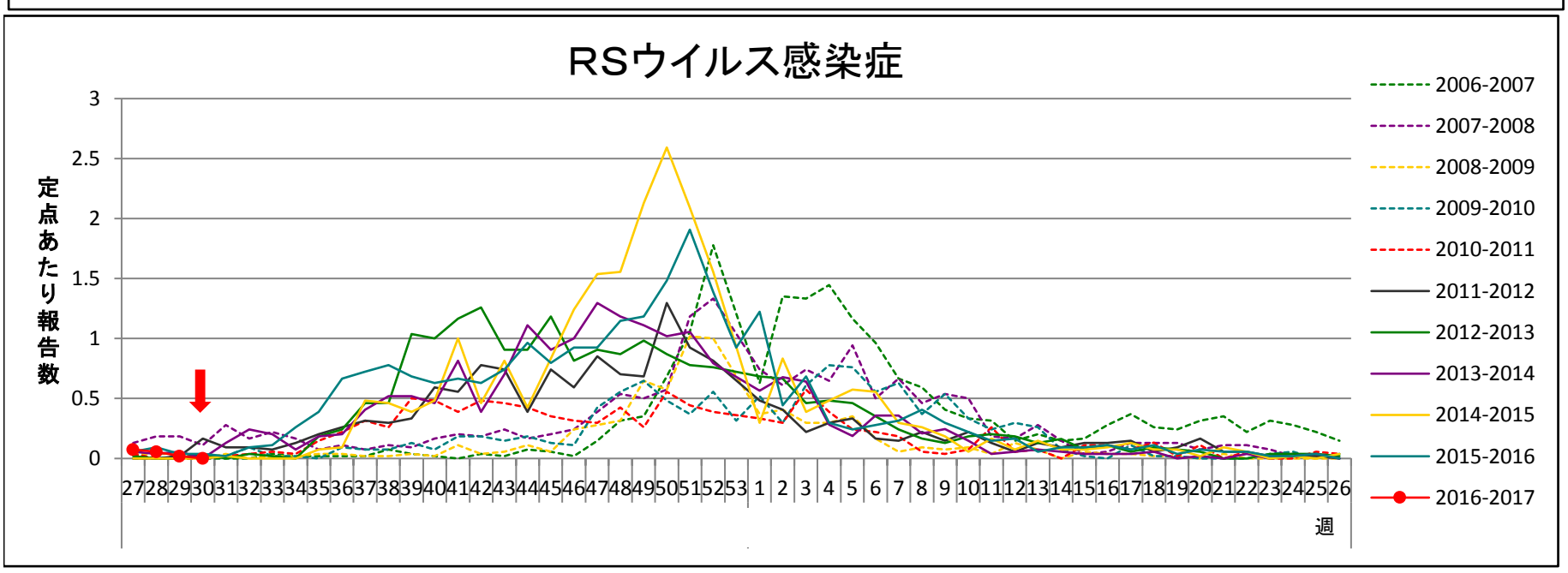
（－： 0 ）

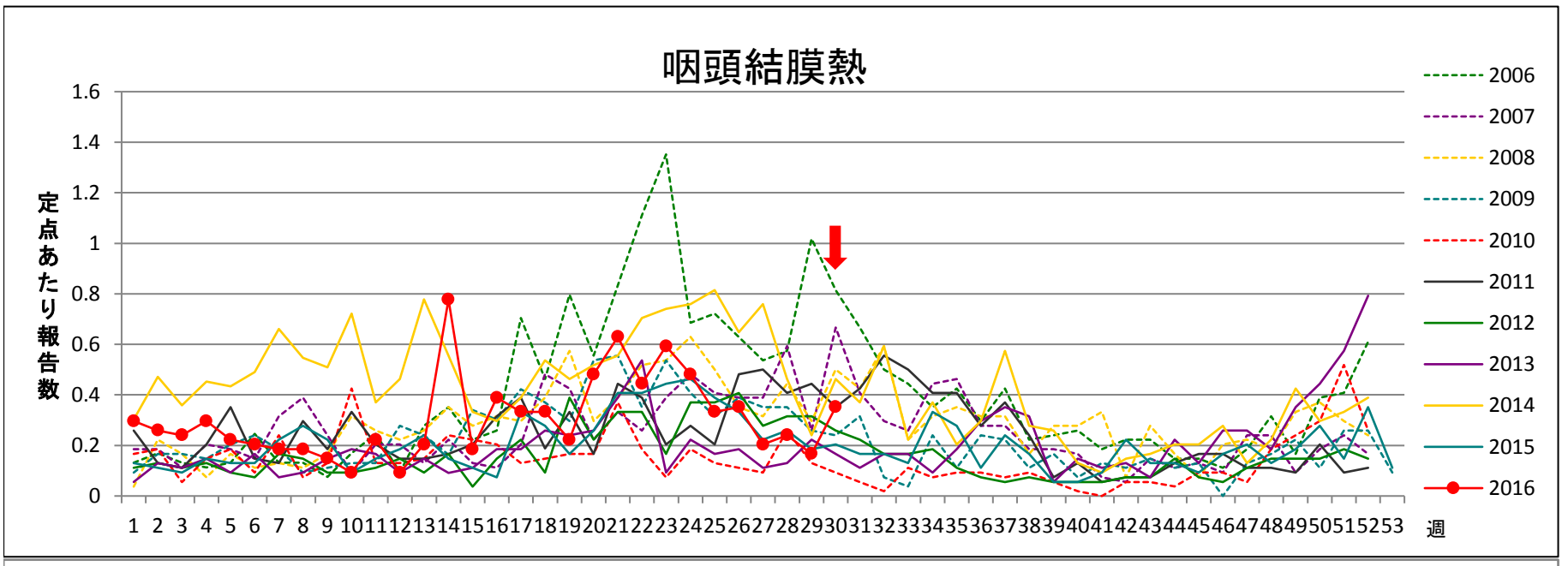
全数把握 感染症患者発生状況

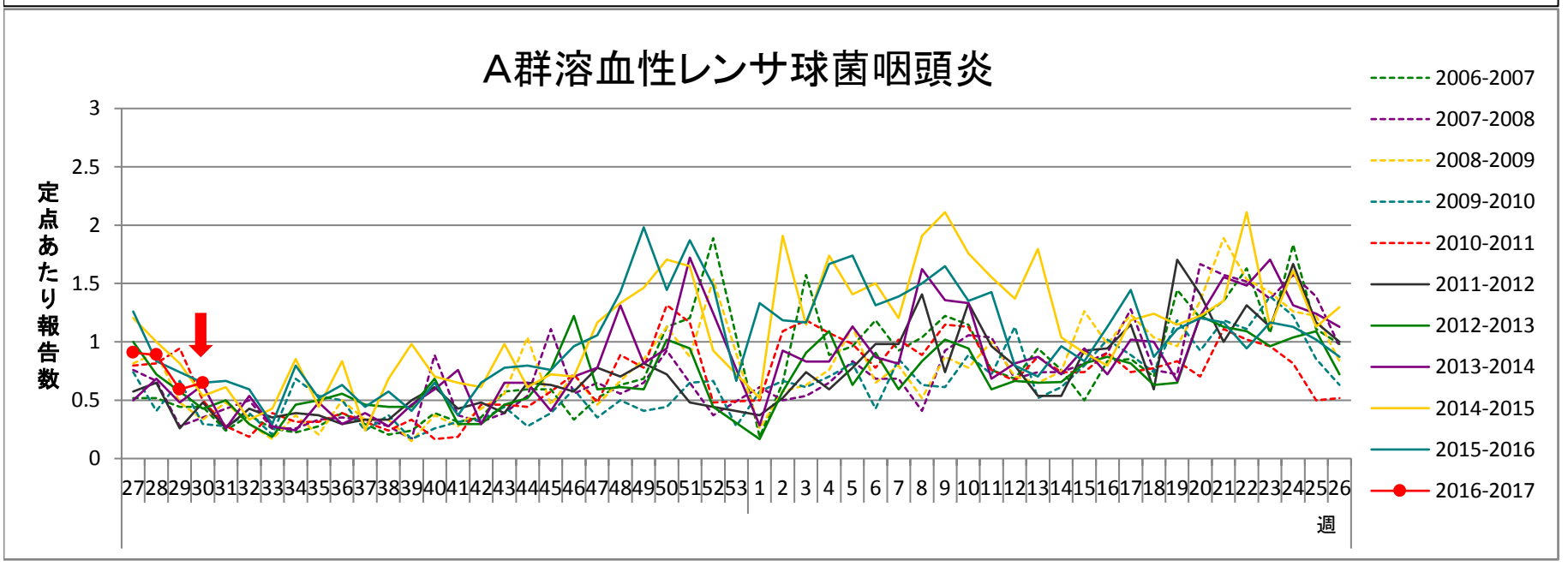
2016 年 30 週

分類	疾病名	2016 今週	2016 累計	2015 昨年	疾病名	2016 今週	2016 累計	2015 昨年	疾病名	2016 今週	2016 累計	2015 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	–	165	374	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	中東呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–
	鳥インフルエンザ（H7N9）	–	–	–		–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	–	–	細菌性赤痢	–	–	2	腸管出血性大腸菌感染症	1	17	63
	腸チフス	–	–	–	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	2	3	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	2	9
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	–	1
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	ジカウイルス感染症	–	–	–	重症熱性血小板減少症候群	–	1	–
	腎症候性出血熱	–	–	–	西部ウマ脳炎	–	–	–	ダニ媒介脳炎	–	–	–
	炭疽	–	–	–	チクングニア熱	–	–	–	つつが虫病	–	1	1
	デング熱	–	–	2	東部ウマ脳炎	–	–	–	鳥インフルエンザ	–	–	–
	ニパウイルス感染症	–	–	–	日本脳炎	–	–	–	日本紅斑熱	–	1	3
	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–	Bウイルス病	–	–	–	鼻疽	–	–	–
	ブルセラ症	–	–	–	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–
	発しんチフス	–	–	–	ボツリヌス症	–	–	–	マラリア	–	–	2
	野兎病	–	–	–	ライム病	–	–	–	リッサウイルス感染症	–	–	–
	リフトバレー熱	–	–	–	類鼻疽	–	–	–	レジオネラ症	–	19	28
	レプトスピラ症	–	–	–	ロッキー山紅斑熱	–	–	–		–	–	–
五類	アメーバ赤痢	–	10	17	ウイルス性肝炎*3	–	3	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	–	16	34
	急性脳炎*4	–	6	14	クリプトスポリジウム症	–	–	1	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	6	2	後天性免疫不全症候群	1	7	21	ジアルジア症	–	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	–	5	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	–	–	–	侵襲性肺炎球菌感染症	–	18	35
	水痘（入院例に限る。）	–	1	6	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	2	18	25
	播種性クリプトコックス症	–	1	1	破傷風	–	1	–	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	–	–	–
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	–	–	風しん	–	–	–	麻しん	–	–	–
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	–	–	–		–	–	–		–	–	–

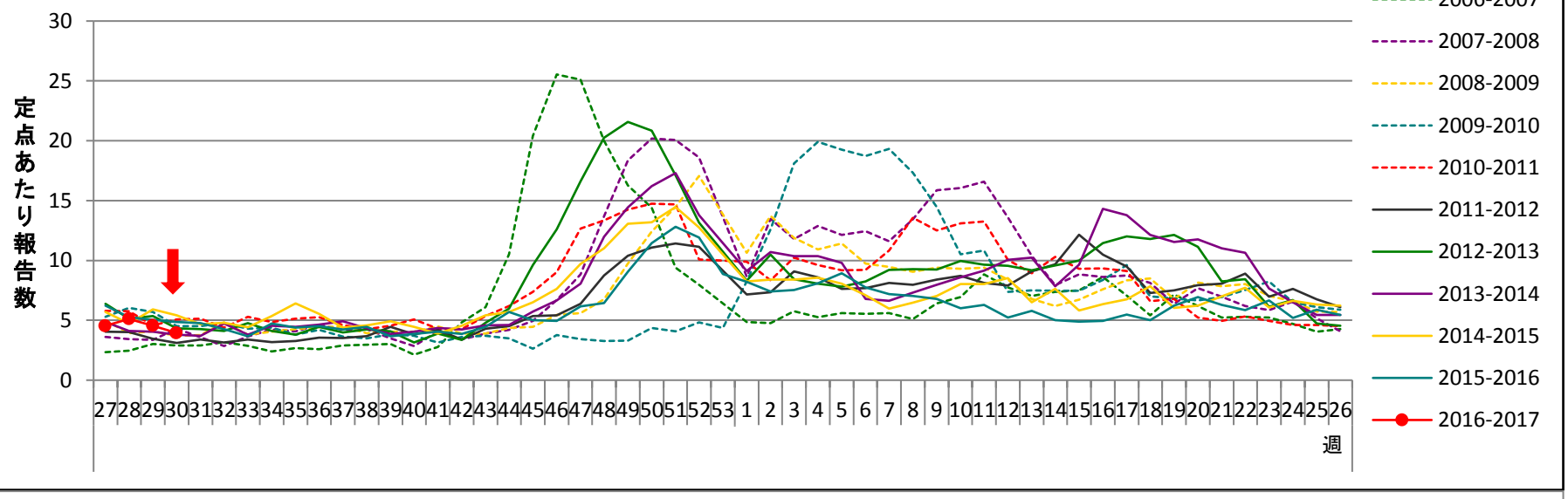

インフルエンザ
定点あたり報告数
70
60
50
40
30
20
10
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017


RSウイルス感染症
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

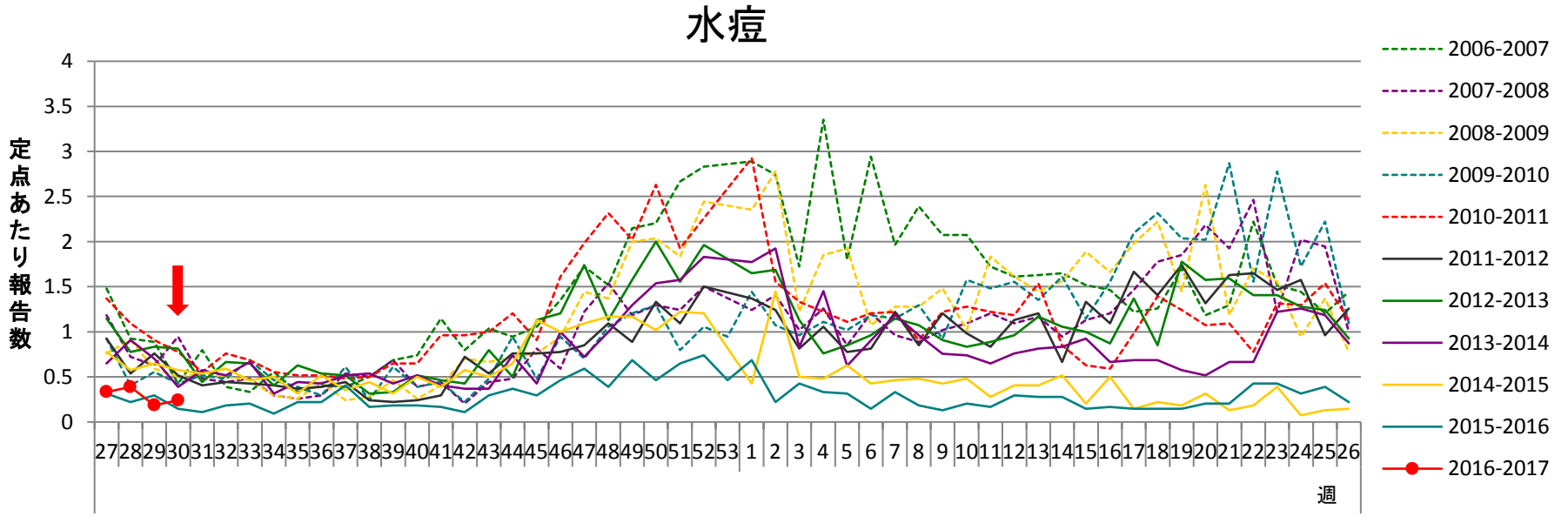

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

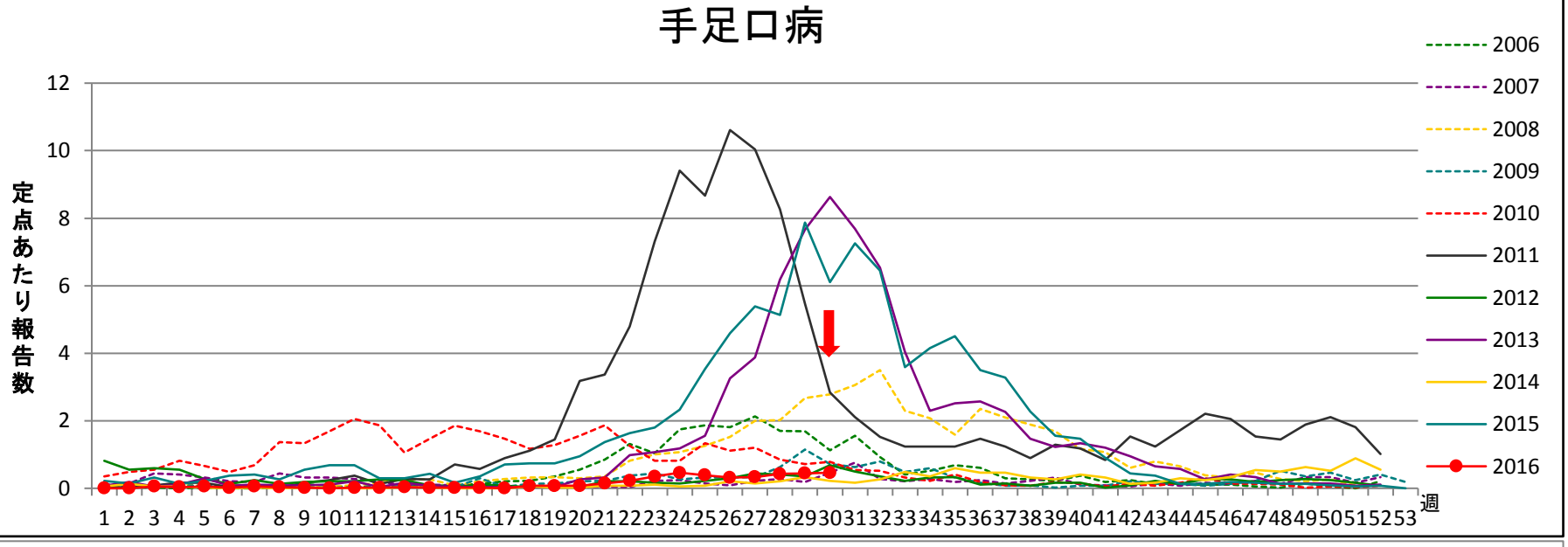
感染性胃腸炎



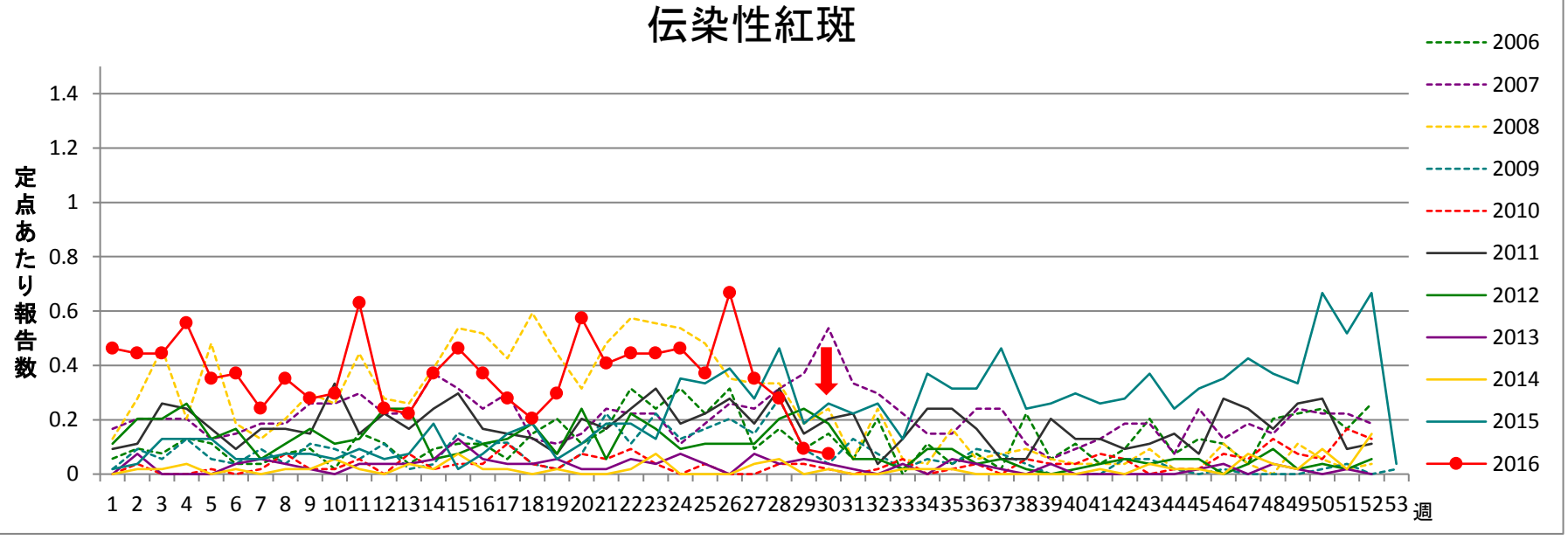
水痘

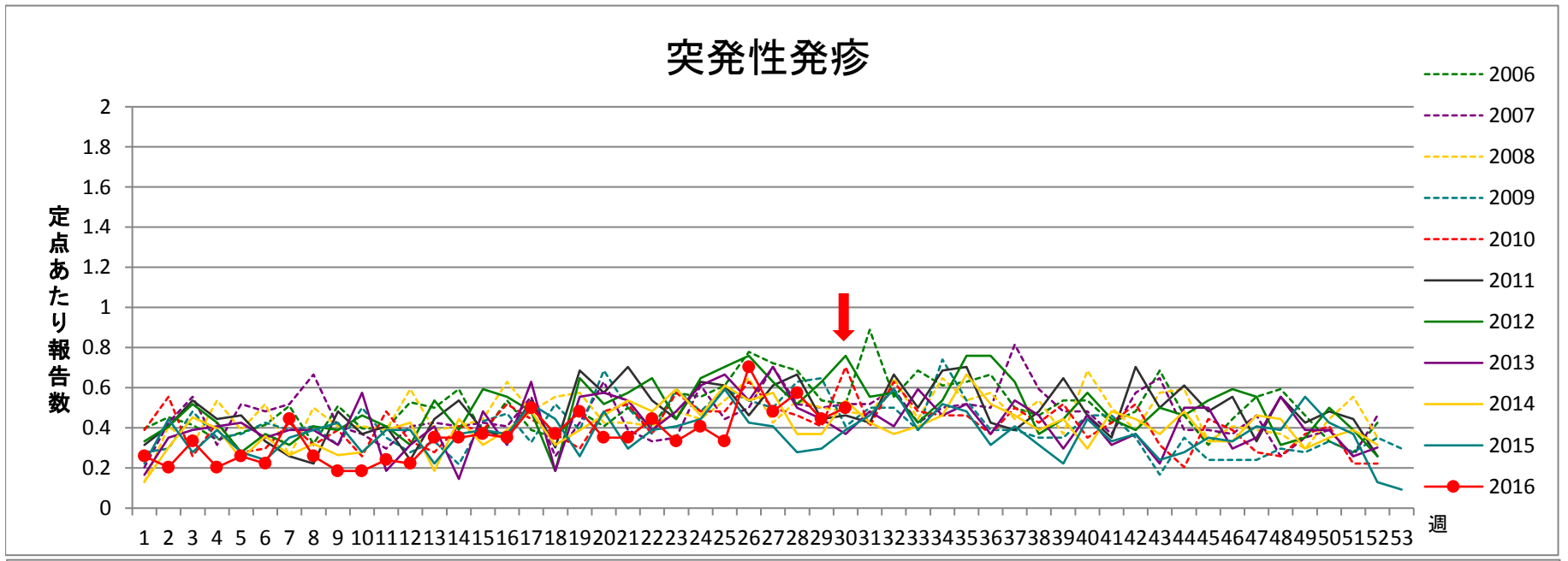


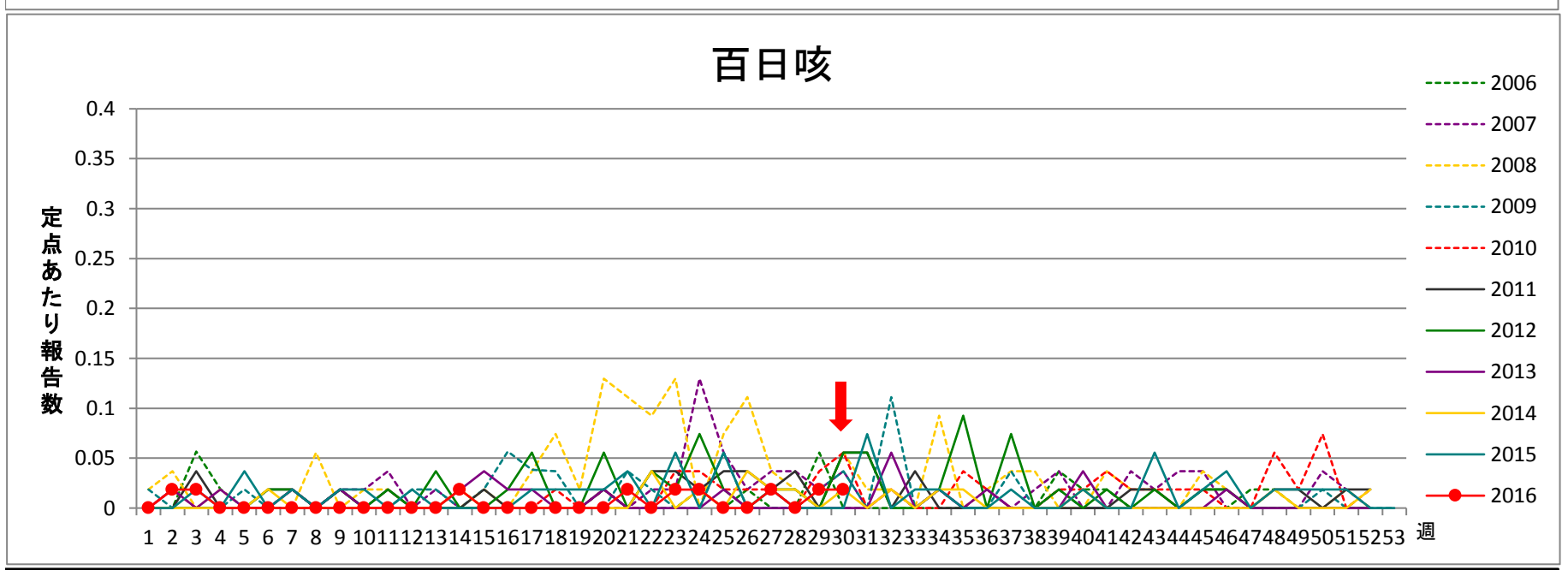
手足口病

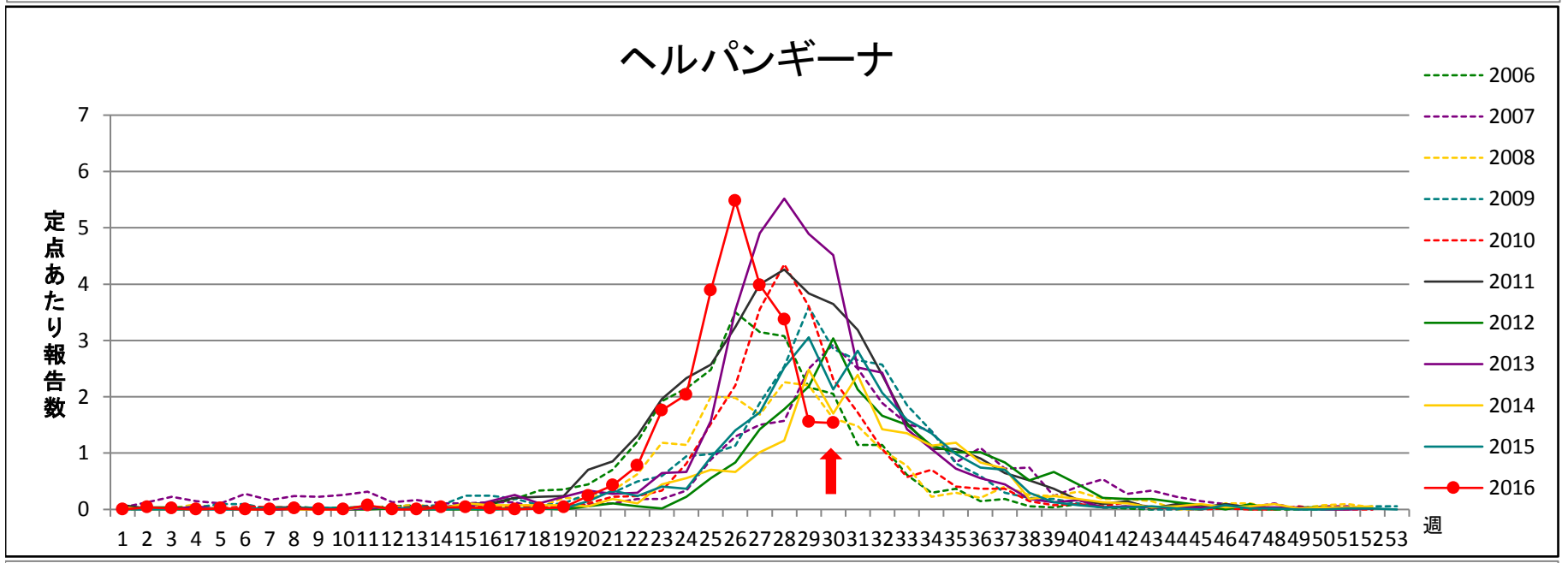


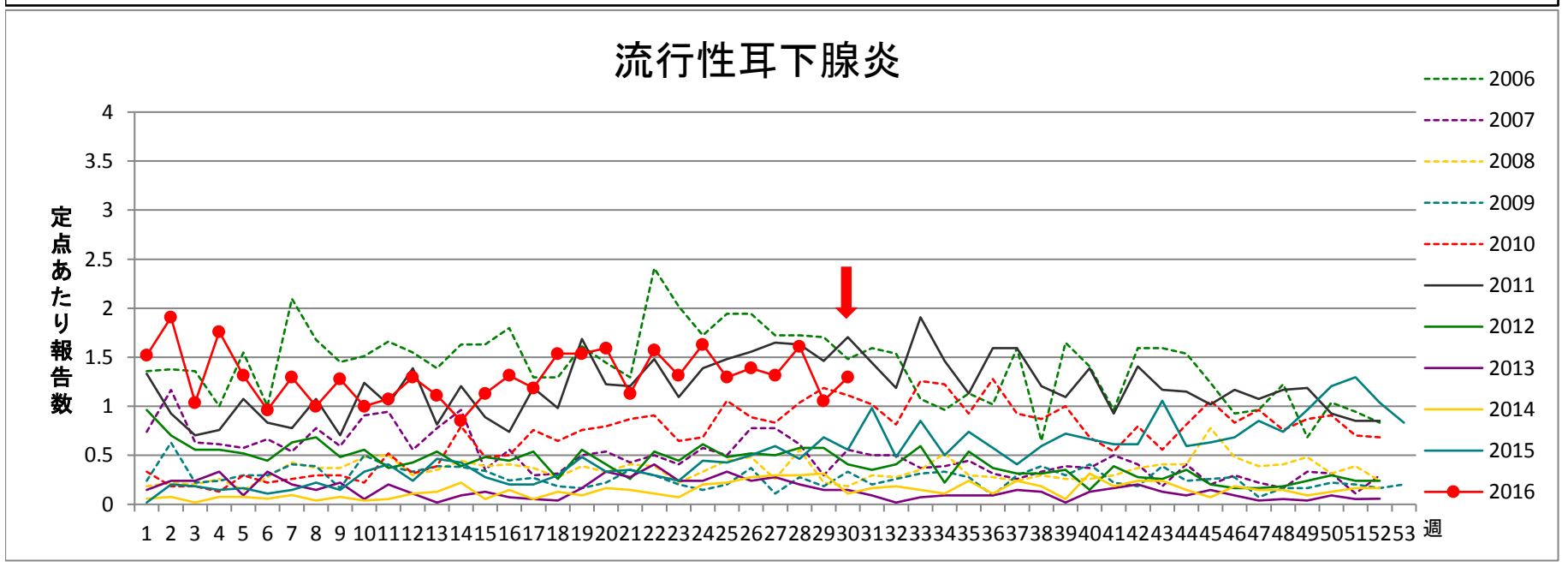
伝染性紅斑

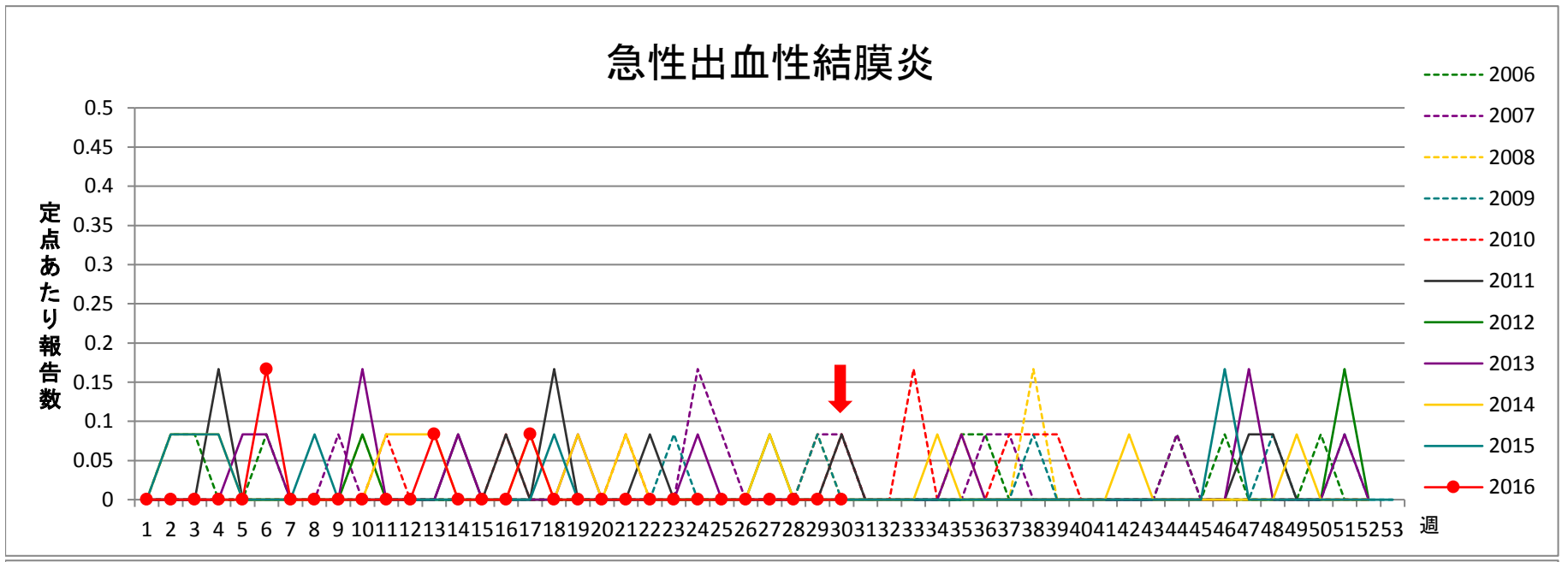


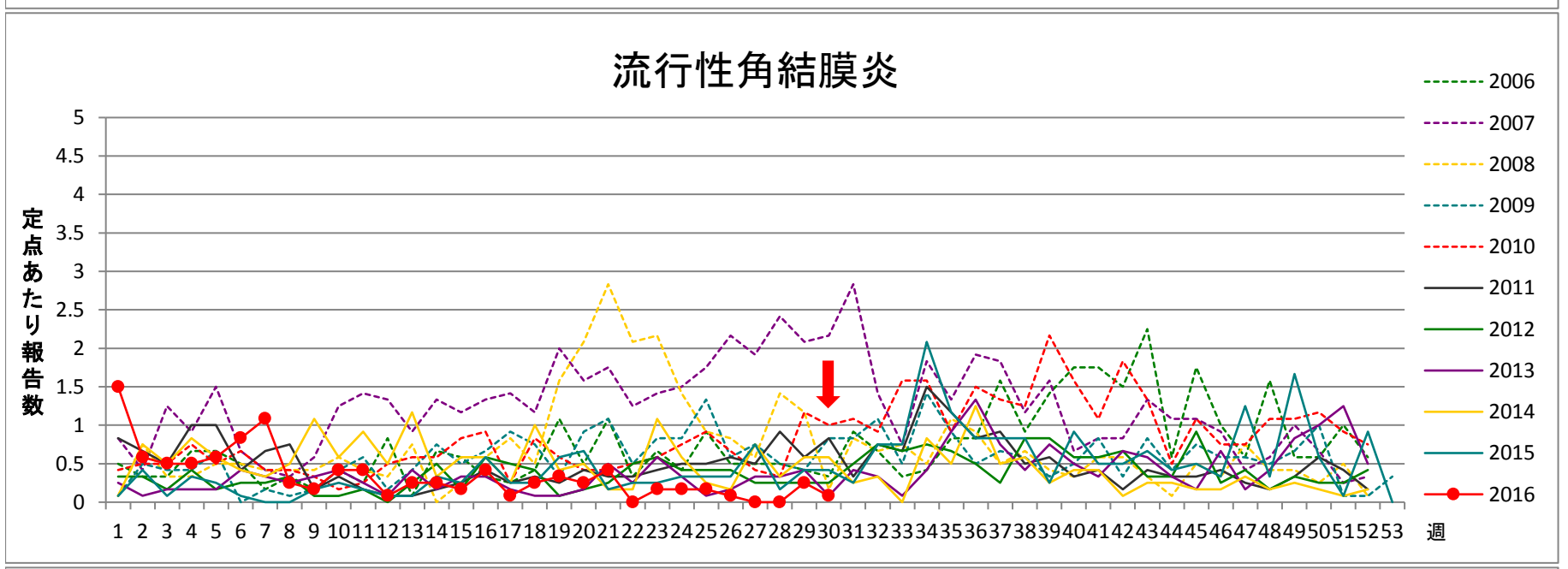

突発性発疹
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016

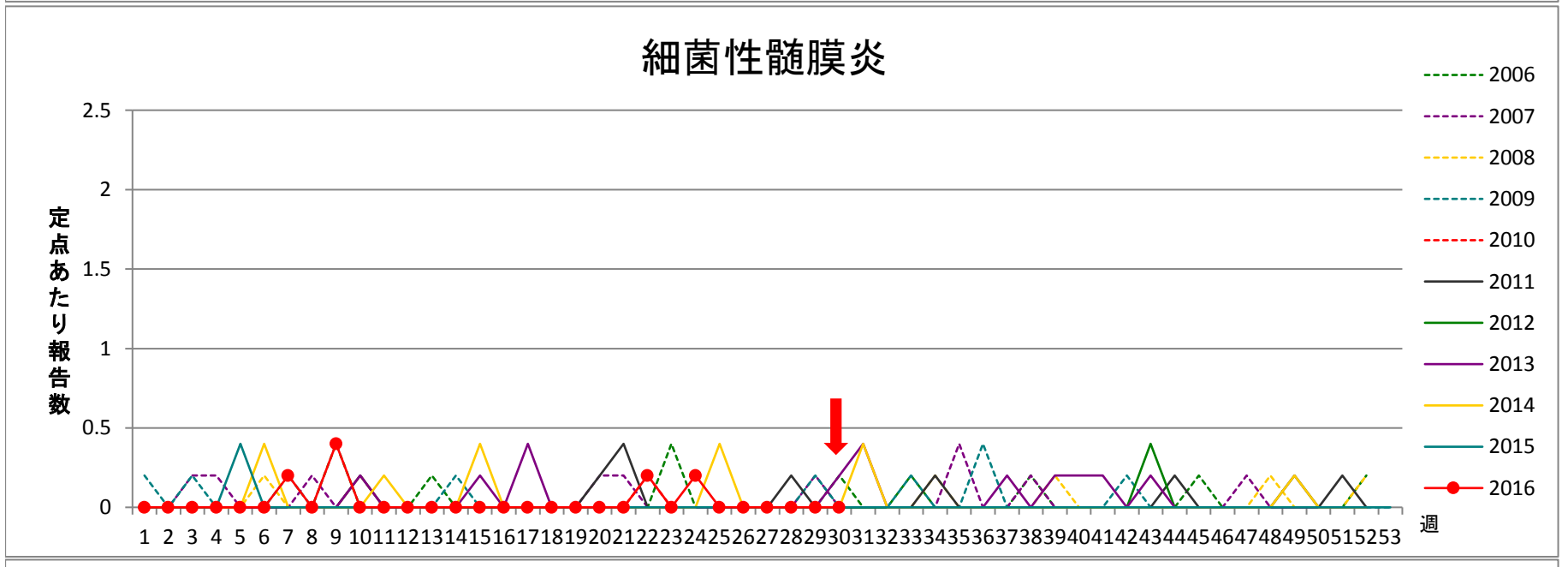

百日咳
定点あたり報告数
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016

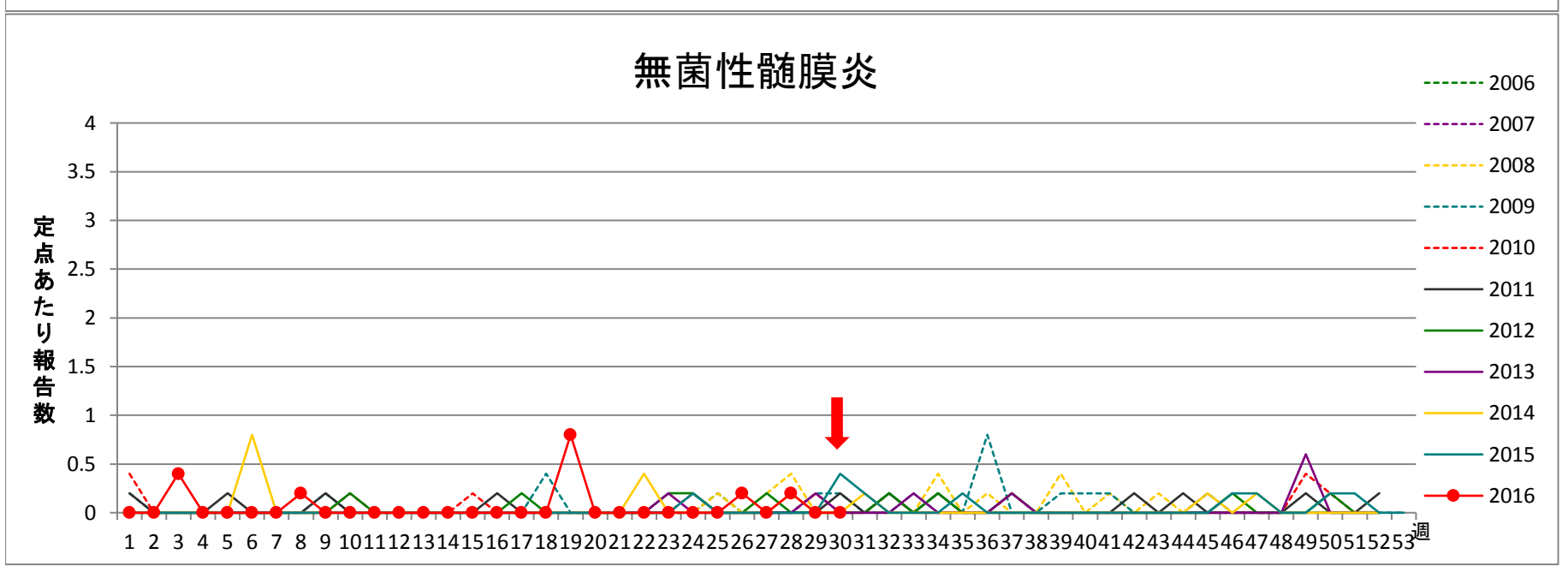

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
7
6
5
4
3
2
1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016

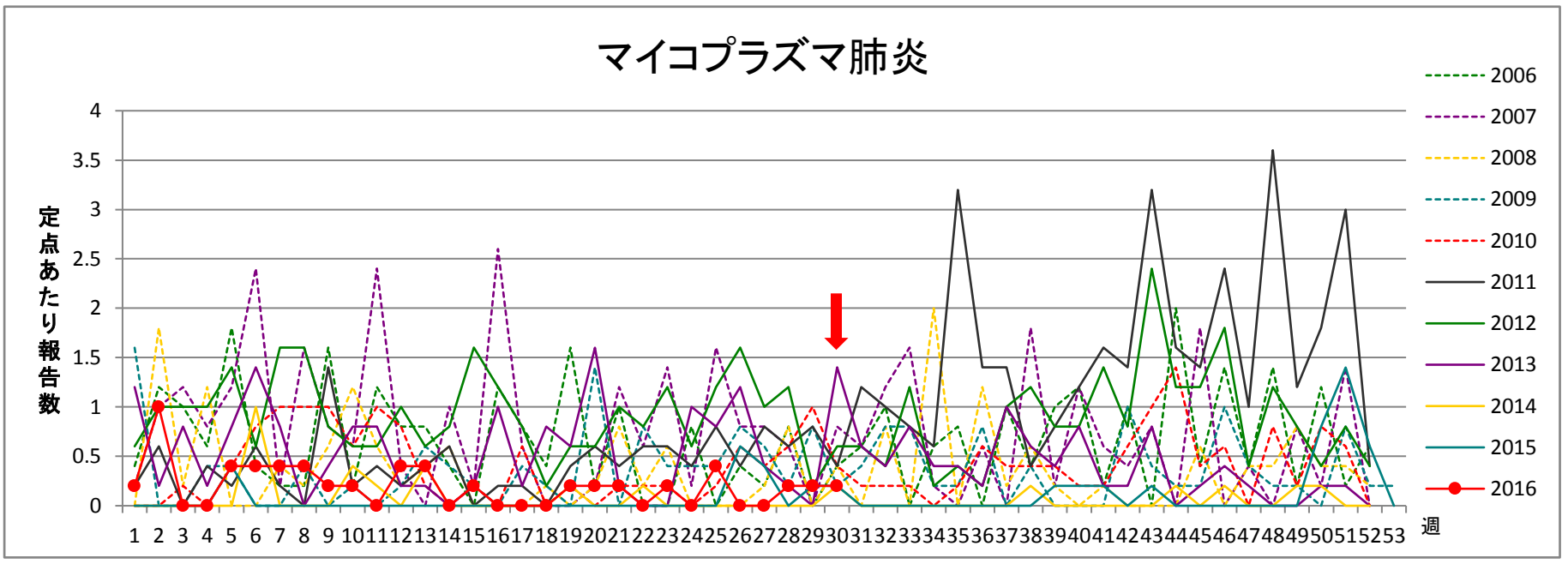

流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016

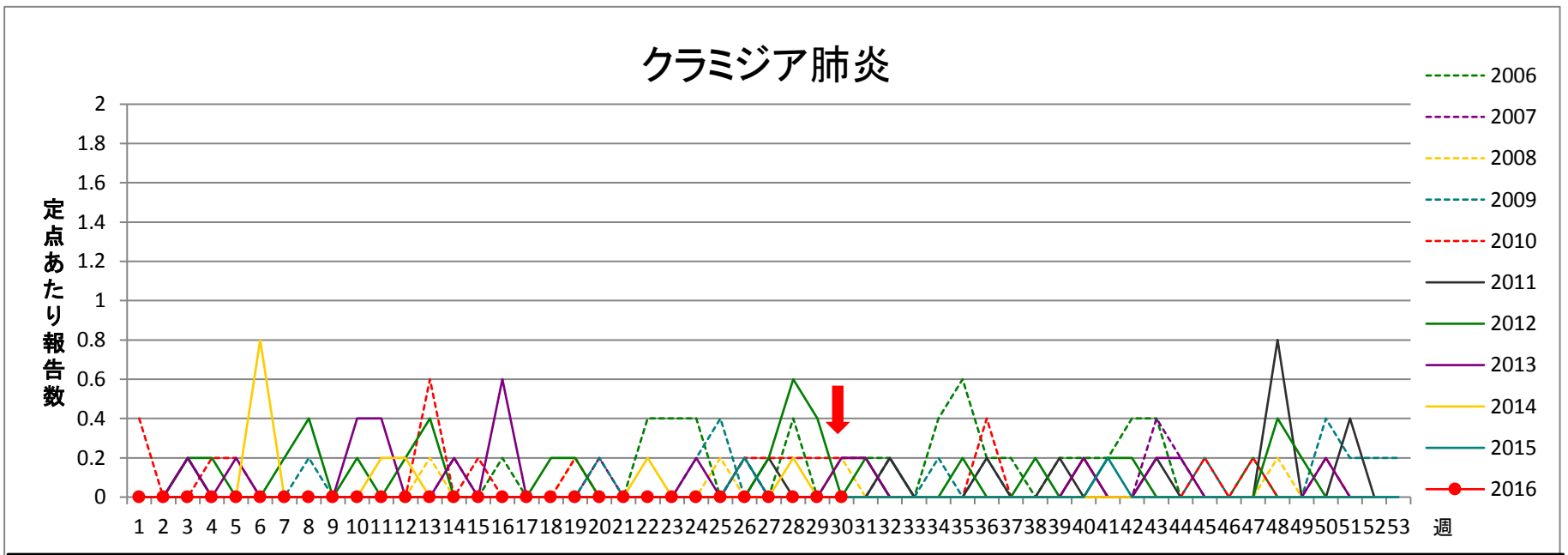

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
0.5
0.45
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016

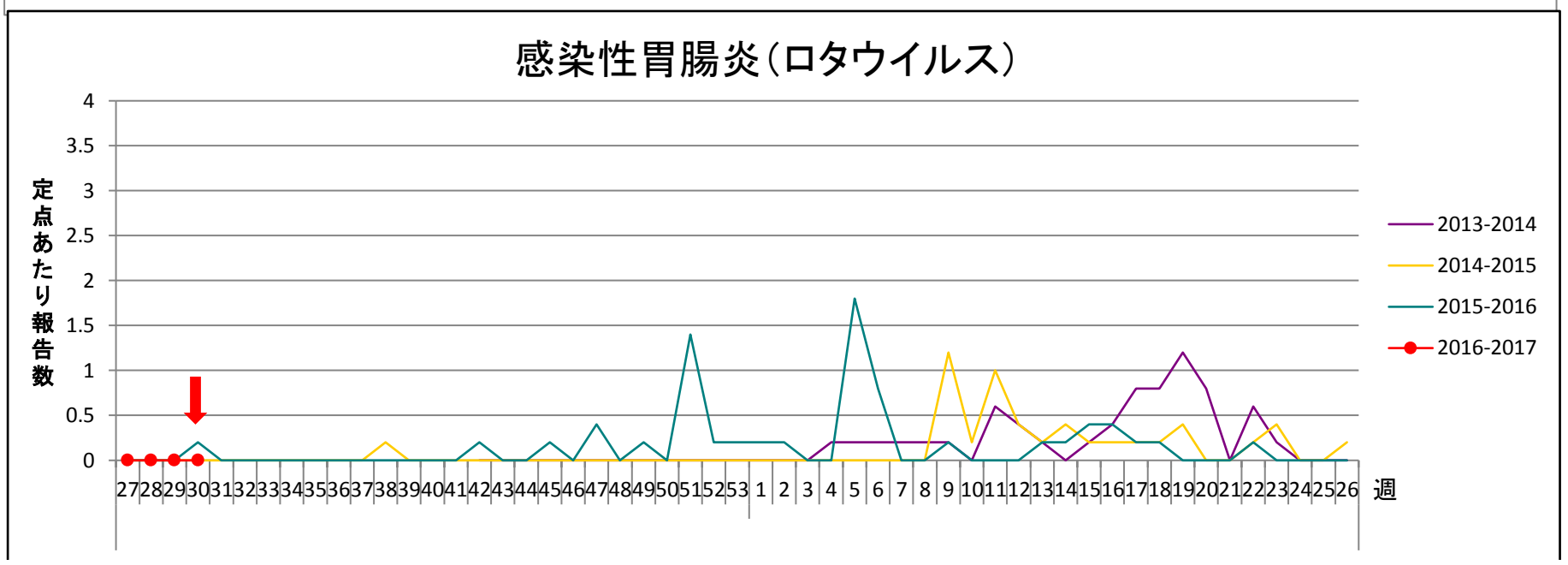

流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


マイコプラズマ肺炎
定点あたり報告数
0
0.5
1
1.5
2
2.5
3
3.5
4
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


クラミジア肺炎
定点あたり報告数
0
0.2
0.4
0.6
0.8
1
1.2
1.4
1.6
1.8
2
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016


感染性胃腸炎（ロタウイルス）
定点あたり報告数
0
0.5
1
1.5
2
2.5
3
3.5
4
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017